

「新聞紙をリサイクルした断熱材で創るエコで心地よい暮らし」

～持続可能な木造建築の未来～



1. 事業背景

株式会社デコス(本社:山口県下関市、代表取締役:安成信次)は、新聞紙をリサイクルしたセルロースファイバー断熱材「デコスファイバー」と、独自の乾式吹込み工法「デコスドライ工法」を全国展開する断熱材メーカーです。

2025年の省エネ基準適合義務化を背景に、施工品質の確保と脱炭素化の両立を掲げ、CO₂を固定するカーボンネガティブ断熱材として木造建築の環境価値向上に貢献しています。

2. 事業概要

- 製造・販売 : 環境負荷の少ないセルロースファイバー断熱材「デコスファイバー」
- 施工 : 独自開発の乾式吹込み工法「デコスドライ工法」
- FC事業 : 全国57社の施工代理店を通じた責任施工体制

3. 製品と施工方法

デコスファイバー(セルロースファイバー断熱材)

- 概要 : 新聞紙を解繊、ホウ酸・ホウ砂・撥水剤を添加
- 特長 : 長期断熱性+調湿性・吸音性・難燃性などに優れる
製造エネルギー消費量が他断熱材の1/50~1/7と極めて低い
施工現場でゴミの発生が少ない綿状素材



新聞紙をリサイクルした断熱材「デコスファイバー」

デコスドライ工法(乾式吹込み工法)

- 概要 : 専用機器で断熱材を隙間なく充填する独自工法
- 特長 : 断熱性能の長期維持、結露防止、住宅の長寿命化
「木造住宅内部結露被害20年保証制度」を運営
全国57社の施工代理店が責任施工

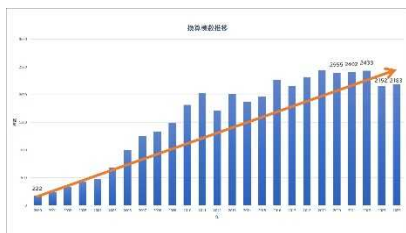


独自開発の「デコスドライ工法」

4. 実績

累計換算棟数 : 約42,000 棟へ採用(2025 年 12 月末時点)

木造応急仮設住宅 : 1,804戸へ採用(熊本地震 563 戸、熊本豪雨災害 612 戸、能登半島地震 623 戸、熊本豪雨災害 6 戸)



25 年で約40,000 棟の採用実績



能登半島地震木造応急仮設住宅
623 戸に採用



建築用断熱材日本初 EPD 取得

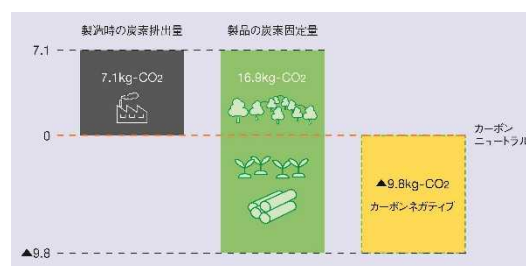
5. 環境への取組み

地域通貨「エコロ」: 回収した新聞紙の量に応じた地域活性化活動

カーボンフットプリント(CFP): 建築用断熱材日本初(2011年取得)

カーボン・オフセット: 建築用断熱材日本初「実質排出ゼロ・カーボン断熱材」(2012 年実現)

エコリーフ環境ラベル(EPD): 建築用断熱材日本初(2019 年取得)



建築用断熱材日本初、カーボンネガティブ断熱材

6. 会社概要

企業名 : 株式会社デコス

代表者 : 代表取締役 安成信次

本社・山口工場所在地 : 山口県下関市菊川町田部 155-7

東京 OFFICE : 東京都中央区日本橋本石町 3-3-8 日本橋優和ビル 8F

福岡 OFFICE : 福岡県福岡市博多区山王 2-1-16 安成工務店福岡支店内

関東工場 : 埼玉県飯能市茜台 3-2-10

設立年月日 : 1974 年 8 月(不動産事業)

業態変更 : 1996 年 8 月(断熱事業開始)

資本金 : 3,000 万円

従業員数 : 26名

Web サイト : <https://www.decos.co.jp>

事業内容 : 断熱材製造販売・施工、FC 事業



decos.co.jp

7. お問い合わせ先

担当 : 田所 憲一(東京 OFFICE)

TEL/携帯 : 03-3516-8056/080-6408-4266

Email : k-tadokoro@decos.co.jp

取材や工場見学は随時受付中です。お気軽にお問合せください。